

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第 8 条第 1 項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 武義高等学校 学校運営協議会 (第 1 回)
- 2 開催日時 令和 6 年 6 月 1 8 日 (火) 1 3 : 2 0 ~ 1 5 : 5 0
- 3 開催場所 武義高等学校大会議室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施
- 4 参加者

	会 長	有川 一	中部学院大学 教授
	副 会 長	土本 恭正	武義高校同窓会会頭
	委 員	辻 晃一	丸重製紙企業組合 理事長
		成瀬 孝子	美濃市社会福祉協議会 常務理事事務局長
		小林 亜弓	本校 PTA 会長
		佐藤 隆司	本校 PTA 監事
学 校 側	加藤 信男	校長	
	笠井 智子	教頭	
	大野 英悟	事務長	
	井戸 裕二	教務部長	
	吉川 敏幸	進路指導部長	
	各務 憲之	生徒指導部長	
	堀内 雅彦	特活指導部長	
	原 美潮	商業部長	

### 5 会議の概要 (協議事項)

- (1) 学校運営協議会委員任命、会長・副会長互選
- (2) 令和 6 年度 教育指導の重点、学校経営計画、各分掌より方針と重点について説明
- (3) 意見交換

意見 1 : ・これからの学校経営にあたり古い価値観に縛られているところがないか。例えば「国公立大学への進学率 50%を目指すこと。」従来の価値観や指標にとらわれることになると、結局新しいことへ進めないのではないか。指標の再検討をしてはどうか。  
⇒一般的指標としての分かりやすさを第一義としたが、古い価値観という点は、気にしていることの 1 つである。そこで大学の他者評価について多面的にとらえた大学の教育成果ランキング等を本校の評価指標にしていくことを考えている。

・生成 AI との関わりは避けられない。教育活動の場面でどのように関わっていくか考えてほしい。取捨選択の能力がないと、生成 AI を使いこなせないのではないか。この部分へ力を付けるための施策を考えてほしい。

意見 2 : ・正規教員が充足できていない教科について、わかりやすく説明いただけるとありがたい。

⇒教育委員会や学校は正規教員が充足できていない教科については、常勤講師、非常勤講師などを配置して生徒の学びに支障をきたすことがないようにしている。

・部活動の指導について、「土日は休みなさい。一日の練習時間は短くしなさい。」という規定を弾力的に運用できないか。この規定は部活動指導に意欲的な先生を抑える形になっている。熱心であることは体育協会の関係者としてはありがたい。

意見 3 : ・学校運営について自尊心と郷土愛、自走性の育成という方針はよいと感じる。感謝します。

意見 4 : ・授業見学をして、タブレットを使った授業が少なかったが、どのような状況なのか気になった。

⇒教科ごとにタブレットを使うメリット・デメリットを考えた授業を行っている。英語・社会は積極的に活用しているが、本日の参観は数学の授業であり使用していなかった。

・昨年度提言した、授業中に別の画面を見ていることに対する指導はどうなっているか。

⇒教科担任が授業中に見て回るタイミングを時折とっている。すべてを見ることはできないが、対応できるよう動いている。

・認知症カフェは、社会福祉協議会で一番力を入れているもの。授業(課題研究)にどのようにかかわっているか。

⇒医療法人かがやき、wasita での実施に関わって、授業中に参加する形を検討していく予定である。

意見 5 : ・学科の在り方の方向性について、進められた場合の周知はどのような手順を踏んでいくものなのか。

⇒県等と相談し、最終決定後に発表するものである。

意見 6 : ・将来に向けての、様々な検討をありがとうございます。自走性という観点は学業に対しても効果があると思う。自分で調べ、見つけ、何をしたらよいのかを生徒自身が動けるとよいと思う。

## 6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

各委員の皆さまから示唆に富む、忌憚のない意見が得られた。いただいた意見を学校経営計画に活かして今年度の教育活動を行い、今後の経営計画にも反映させていく。